

DONMAI

Core Minimoto Magazine

Vol.1

Main contents

- What is Minimoto ?
- ENJOY YOUR OWN STYLE
- DAN-G's Life



FREE
MAGAZINE

What is "DONMAI MAGAZINE" ?

国内主要オートバイメーカー4社のうち、3社がオートバイの生産を始めた土地、浜松。その浜松で盛り上がっているモータースポーツの一つとしてミニモトがあります。

そのミニモト普及のためにDONMAI MAGAZINEは立ち上がりました。

ドンマイというと、英語で"Don't mind"、日本語では「気にするなよ」というマイナスな言葉にとられがちですが、我々は日本語として定着しつつある「ドンマイ」を「細かいことは気にせず前を向いていこう」とプラスにとらえ、この言葉をマガジンのタイトルとしました。



What is Minimoto ?

ミニモト＝ミニモトクロス、簡単に言えば小さいモトクロスってことです。アメリカの西海岸で大人達の遊びとして広がりを見せアメリカ全土に広がって行ったモータースポーツ遊び好きなアメリカン達が子供向けのバイクで遊び始めた事が端を発する。フルサイズの本モトクロスは確かにカッコいい！でも敷居が高い・・・怖い・・・

そんなあなたにオススメなのがミニモト！
小さい車体で取り回しのし易さ、安心感がありながら気軽にモトクロスを楽しめちゃう！それがミニモト！
まずはミニモトとは何ぞや！？ってところから紹介していきましょう！



ミニモトは大きく分けて2つのクラスに分けられ、国内4メーカーからそれぞれリリースされている。

50ccクラス
(70ccクラス)



HONDA CRF50



YAMAHA TT-R50E



SUZUKI DR-Z50 (70)

50ccクラスの魅力はその扱いやすさ！
取り回しやすい車体、程よいパワーで女性やビギナーからエキスパートまで楽しめるこのクラスは人気高し！

110ccクラス



HONDA CRF110



YAMAHA TT-R110E



KAWASAKI KLX110L

110ccクラスの魅力はやはりパワー！
豪快なライドを求めるあなたには110ccをオススメします！

How to Start ?

もともと子供用のバイクなのでミニモトを始めるにははじめに少々のカスタムが必要だ！

<ハイシート>

ノーマルだと窮屈なシートは、
ハイシートへ変更！

<ハンドルバーキット>

ノーマルだと窮屈なハンドルを
大人仕様に変更！

<リアサスペンション>
大人仕様にハードな
サスペンションユニットへ変更！



<フロントサスペンション>
大人仕様にハードな
スプリングへ変更！



その他にもグラフィックやゼッケンなどなど、
改造の巾が広く、個性を出しやすいのも
ミニモトの魅力！
あなたのオリジナルの1台を作ろう！

How to Enjoy ?

ミニモトの楽しみ方は人それぞれ！自分にあった楽しみ方でミニモトを楽しめ！

Race



ヨーイドン！で始まる追いかけっこ！盛り上がり度No. 1！



Jump



気軽に飛べちゃうミニモトでかっこよくジャンプを決めちゃおう！

Freeride



みんなでワイワイ、それぞれのペースで気楽に走ろう！



Custom



手軽にイジれるのもミニモトのいいところ！
あなたの個性を活かしてオンリーワンの1台を！

Minimoto Support Shops

ミニモトライブをサポートしてくれる熱いショップをご紹介します！

JapanHeat X



“JAPAN HEAT-X”(ミニモトコース、車両販売、修理、パーツ販売、取付)
そんなミニモトが楽しめるのは“JAPAN HEAT-X”
レンタル車両、ヘルメット、ブーツもあるので手ぶらでOK！
まずは体験走行でお試しあれ！

〒432-8006
静岡県浜松市西区大久保町1071
TEL:053-489-9793
営業時間 9:00～日没(土日祝のみ営業)
<http://www9.plala.or.jp/JAPANHEATX/>

←QRコードで今すぐアクセス！



“STAB BLUE ENTERPRIZE”(パーツ販売、一部車両販売有)
ミニモトパーツを豊富に揃える“STAB BLUE ENTERPRIZE”
アメリカ雑貨、アパレルも豊富に揃えるおもちゃ箱のような存在！

〒435-0027
静岡県浜松市南区下飯田町62
TEL:053-581-8944
営業時間 10:00～19:00
定休日:無し
<http://www.stab-blue.com/>

←QRコードで今すぐアクセス！



“motoLab”(車両販売、修理、パーツ販売、取付)
親身になって相談に乗ってくれるスタッフは某有名ライダーの元メカニック！
確かな腕による整備で安心ライドをお約束します！

〒438-0075
静岡県磐田市天電204-5
TEL:0538-32-3043
営業時間 9:00～19:00
定休日:日曜日

ENJOY YOUR OWN STYLES

Rider No.001: Shigeru Ohba (#54)



<ミニモトとの出会い>

大庭がミニモトを始めたきっかけはミニモト界ではお馴染みKaZuYuki cK氏からのスズメであった。「誘われるがまま気楽な気持ちで始めた」と大庭は語るが、益々彼はミニモトへのめり込んでいく。

もともとテストライダーという職業柄とATVの全日本選手権にも参戦していた大庭はミニモト界でもすぐに頭角を現し、レースでは上位に名を連ねるライダーへと変わった。

豪快な走りどスピリッツはJAPAN HEAT-Xをホームコースとするライダーの中でも一二を争う。

ただ、バイクを降り、ヘルメットを脱いだ彼のつぶらな瞳は優しさに溢れており、彼を慕う仲間も非常に多いのだ。

#54 大庭 繁(Shigeru Ohba)

Birth: 静岡県磐田市

Motorcycle: DR-Z50, DR-Z70

WEAR: Answer

HELMET: SHOEI

GOGGLE: SPY

BOOTS: ALPINE STAR

GLOVE: DEFT FAMILY



イメージカラーはグリーン×イエロー、コースのどこを走っていても大庭の存在感は目を引く。



メンテナンスは基本的に自分で行う。こんな気軽さもミニモトのいいところだと大庭は語る。



大庭繁のブログ

“食いしん坊万歳 #54 ブログ” も要チェック!

<http://blogs.yahoo.co.jp/shigeking1217>



ENJOY YOUR OWN STYLES

Rider No.002 & 3: Matsuda Family



＜家族で楽しめるミニモト＞

ミニモトを家族で楽しんでいる家族は多い。
松田ファミリーもそんな家族の一つ。
親子で追いかけては父と息子の最高のコミュニケーションなのかもしれない。
父は息子を追いかけながら成長を感じ、息子は父の背中を見ながら父の偉大さを感じる。な～んてことを考えると私は家族で走っている姿を見ながらニヤニヤしてしまう。



Matsuda Family
(Daddy & Ryuichi)
Motorcycle: DR-Z50, TT-R110E

「ミニモトでかっこよく飛びたい」と
本誌取材陣に熱く語ってくれたRyuichiくん



ミニモトが走れるところを探してきたのは
息子のRyuichiくん
JAPAN HEAT-XはYahoo知恵袋で
探してきたとのこと(笑)



もうすぐ定年の松田パパ
年齢を感じさせることのない
アグレッシブな走りで見せてくれる





1

「やっぱりオレはモトクロスが好いとーとばい」

元MX 1Aライダーにして、4輪、2輪メーカーS社の社員、そして現在は東南アジアの日系企業が多数ひしめくタイへ駐在し日々奮闘している段上高洋にスポットを当ててみた。

読者のみなさんの記憶にも新しい2012年11月にタイへ赴任し約半年、彼自身のブログ“danのブログ”で奮闘記が記されている。詳細はブログを直接読まれた方が伝わると思うので、ここでは彼のタイでのバイク事情について紹介したい。

彼はご存知の通りモトクロスの元1Aライダー、幼い頃からバイクに乗って自身の両親が管理している福岡県志賀島の“デンタンサーキット”にて腕を磨き、日本モトクロス界の頂点、1Aクラスまで上り詰めた。現役引退後もモトクロスからは離れず、浜松市西区にあるJAPAN HEAT-Xではミニモを楽しむだけでなく、初心者、子供へのバイクスクールを開くなど、モータースポーツの普及にも力を入れている。

そんなモトクロス一直線の彼がタイへ赴任、4月の時点でブログを読む限りではバイクに乗ることはしていない。ひたすら仕事→観光→食べ物→シンハービールといった感じであった。しかしやはり彼は段上高洋、行動せずにはいられなかった！

「キムタコ！できたばい！」って送られてきたのは、タイでは売られているのか定かではないがモトクロス用のバイク(写真1)。サイズの的に85ccラージか！？RM85L？って感じの立派なモトクロスバイク。何とこのバイク、タイで売られているアンダーボーンと言うジャンルのバイクで、モトクロスとは到底縁の無い、かけ離れたバイクである(写真2)。ついに完成した彼の愛機、彼のタイでのモトクロスライフがついに始まる！今後の彼の動きからますます目が離せない！



2



3



6



7



8



9



4



5



10

- 元車はHONDAのNOVA。2st 125cc、お店に置いてあった何の変哲もないアンダーボーンタイプのバイク。
- カスタム途中の様子。らしくなってきたが、タイヤを見るとアンダーボーンらしさがまだまだ残る。
- 段上のバイクカスタムを担当したPRASERTさん。何でも作っちゃうスゴ腕なんだとか。
- 6&7、マフラーのカスタムショップとカスタムショップでワンオフで作ってもらったサイレンサーとチャンバー。これだけ見たら本物のモトクロス専用のもに見えてしまう。
- 集めてきた外装一式。中国製か？色はスズキのチャンピオンイエローをチョイス！
- YAMAHA TTXのリムを流用したリアホイール。工夫を凝らし仕上げられたことがうかがえる。
- 完成した車体。このルックスからは誰もアンダーボーンの車体から作りあげられたことは想像できないだろう。



段上高洋のブログ“danのブログ”をチェック！
<http://ameblo.jp/dan-ga-3/>

DONMAI STORE



DONMAI T-Shirts販売決定！ ¥2,100

①Teiban



②Hentai



③Cool



④ENOHEY



カラーは①～④からお選びください。
サイズはS,M,L,XLを準備しております。
(キッズサイズはご相談ください)
受注生産のため、納期が約2週間～1ヶ月半かかります。
注文、お問い合わせは、"donmai_magazine@excite.co.jp"まで！
(売上は全てDONMAI MAGAZINE運営費へ使用させていただきます)

DONMAI CREW



左から、#26 Kotoko、#522 Kimutaco、#114 Shiro-X、#54 Ohba

～編集後記～

Editor in chief & Designer & Photographer
Kimutaco

ドンマイマガジンは、我々が大好きでやまないミニモトを一人でも多くの方々へ知っていただくために始めたフリーペーパーです。これからも2号、3号と続けていけるようにがんばります！応援よろしくです！
<http://blog.livedoor.jp/kimutaco522/>

Editor & Photographer
Kotoko

女性でも楽しめちゃうミニモト！みんなにもっと知って欲しい！レディースライダー集まれ～！

Editor & Riding adviser
Ohba

乗り方で分からないことがあったらなんでも聞いてください！とりあえず1回乗ってみて！絶対ハマるから！

Editor & Advertising division
Shiro-X

乗るだけで退屈な日常を冒険に変えてくれるミニモト。百聞は一見に如かず、百見は一ライドに如かず！

